

祝 辞



時宜を得た広報誌の創刊

沖縄県土木建築部

部長 上原 幸一

沖縄県設備設計事務所協会の広報誌「建築設備」が創刊されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴協会は昭和58年創立以来、全国的な技術革新のもと、技術力の研鑽を積み重ね先進技術の導入に日夜努力をなされ建築設備の設計、工事の監理を通して本県の土木建築行政の円滑な推進に多大なご協力を賜り深く感謝申し上げます。また、創設以来発展をとげてまいりました貴協会員も40社を数えるに至り、記念すべき15周年の節目に「建築設備」が創刊されますことに心からお慶び申し上げます。

ご案内の通り近年の目覚ましい技術革新産業構造の変化等を背景として、国際化の進展、情報化社会、高齢化社会への急速な移行により、建築物は大型、複雑、多様化しており、加えて建築設備も高度且つ専門分化の傾向が強まっています。

また、皆様のご記憶にも新しい阪神・淡路大震災による建築物等の倒壊がきっかけとなり、現在耐震構造等の問題が大きくクローズアップされております。このことは、言うまでもなく防災の観点からの建築設備の技術が要求されることとなります。そのため建築設備の設計に当たっては、総合的技術力の習得はもとより、時代にマッチした専門的知識が求められているところであります。

さて本県は、個性豊かで文化の薫り高い地域社会の形成を目指し、二十一世紀を見据えた第3次沖縄振興開発計画に基づき、社会資本の整備をはじめとする諸施策を積極的に推進しているところであります。県としましては、平成9年度の建築営繕関係の事業として、「沖縄県工業技術センター」、「平和祈念資料館」、「県立看護大学」等の社会資本の整備を進めてまいりました。平成10年度においても、県営住宅をはじめ「海洋深層水総合利用施設」、「埋蔵文化財センター」、そして2000年サミット誘致に向けての「国際友好会館」などの建設事業の推進を図っていくこととしております。

貴協会におかれましては、益々の組織の充実に加えて技術の向上等、研鑽を重ねられ本県の発展にこれまで以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、貴協会の限りないご発展と会員各位の益々のご活躍を祈念申し上げ祝辞といたします。

